

2015 年度 小委員会活動成果報告

(2015 年 1 月 26 日作成)

小委員会名	設計用気象データ小委員会	主 査 名：松本 真一 就任年月：2015 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (建築設備運営委員会)	委員長名：羽山 広文 主 査 名：赤司 泰義
設 置 期 間	2015 年 4 月 ～ 2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	・ UV-A, UV-B 推定法の検討とその精度検証 (初年度-第 2 年度) ・ 東南アジアの気象データ整理に向けた検討及び、気象観測 (初年度-第 2 年度) ・ 2008 年以降の拡張アメダス気象データの整理 (初年度) ・ 30 年拡張アメダス気象データの整理に向けた検討 (第 2 年度)	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無し	
	主査：松本真一(秋田県立大) 幹事：細淵勇人(秋田県立大) 委員：赤坂 裕(鹿児島大学)、 荒井良延(鹿児島建設)、 井川憲男(大阪市大)、 永村悦子(園田学園大)、 永村一雄(大阪市大)、 菊池卓郎(竹中工務店)、 木下泰斗(日本板硝子)、 窪田真樹(鹿児島高専)、 斉藤孝一郎(YKK AP)、 二宮秀典(鹿児島大)、 武田和大(鹿児島高専)、 中山哲士(岡山理科大)、 福留伸高(東京工芸大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	無し	
2015 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：無し 委員会 HP アドレス：

項 目	自己評価
委員会開催数	4 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	1. 無し
講習会	1. 無し
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	1. 無し 2. 無し
大会研究集会	1. 無し
対外的意見表明・パ ブリックコメント等	1. 無し
目標の達成度 (当初の活動計画と得ら れた成果との関係)	1. UV-A, UV-B データの推定法の検討 委員の所属する国内 4 大学で UV-A, UV-B を観定し、このデータを集約・整理 した上で、他の気象要素からの推定法を提案した。 2. 東南アジアの気象データ整理に向けた検討 第 2 年度より観測を開始することを目標に、観測地、観測項目等を検討した。
委員会活動の問題点 ・課題	活動成果の学会全体への還元を考えると、シンポジウム等議論の場を設けるこ とや出版など、成果を広く発信する必要があると考える。 この為、委員に限らず、広く議論する場を設けることを企図して、2016 年度大 会では、オーガナイズドセッションを実施することとした。

2015 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	・ UV-A, UV-B データの推定法の精度の検証 精細な UV-A, UV-B 観測データの蓄積・分析を行った上で、日射量等から UV-A, UV-B を推定するモデルを開発し、観測データを用いた照合を実施した。 国内での観測の継続に加え、第 2 年度からは後述する国外（東南アジア地域）での観測を開始し、さらなるデータの蓄積を行うことで、紫外域日射量の高精度推定モデル確立に向けた検討を引き続き行ってゆく予定である。 ・ 東南アジアの気象データ整理 発展著しく、建築設計において需要が見込まれる東南アジア地域の気象観測及びデータ整備を行うことを目的として、東南アジア地域の気象観測の実態に関する情報収集を行った。第 2 年度から開始する、東南アジア地域での観測にあたり、観測地、観測項目等の詳細について議論、検討した。 ・ 次年度大会オーガナイズドセッションの実施 「気象データの活用と新たな展開 -拡張アメダス気象データを中心に-」をテーマに、気象データ開発の進展や先端の活用事例などの研究発表を通して、今後のデータ整備のあり方、利用方法に関して議論する場を設けることを計画した。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。